

# ほけんだより 6月

2018年6月1日  
緑の家保育園

入園、進級して緊張や不安が解けて疲れが出たり発熱や体調を崩す子どもたちが見られました。5月の感染症は、溶連菌感染症が3名、アデノウィルスが3名、突発性発疹が2名でした。麻疹が関東にも進出してきています。空気感染であり潜伏期も10~12日とあり感染のリスクが高いです。免疫が低下していたり抗体のない方は母子手帳を確認し予防接種を受ける等、感染予防をしていきましょう。

## 溶連菌感染症

溶連菌(ようれんきん)感染症とは、溶血性連鎖球菌という細菌による感染症で、喉の痛みを伴う咽頭炎の2割程度がこの菌が原因と言われています。5~10歳くらいまでの子どもがかかりやすく、発熱で気付かれることが多く、咳やくしゃみなどでうつります。

2~5日の潜伏期間の後、喉の痛みや、扁桃腺が腫れる症状から始まり、頭痛、体のだるさなど、かぜの症状と同時に38~39℃の高熱が出ます。発熱から2~3日経つと、首や胸、手首、足首に粟粒状の発疹が現れて強いかゆみを伴い、やがて全身に広がります。同時に、舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツとした発疹が現れます。

溶連菌感染症と診断されたら、抗生物質を10日から2週間服用します。早い時期から服用する程、治療効果があると言われています。発症から5日程経つと、熱も下がり、発疹や喉の痛みも治まります。予防には、手洗い・うがいが基本です。

熱がある時は、水分補給を十分に行いましょう。また、喉の痛みがあるため、熱い物や刺激物、柑橘系の果物は避けましょう。回復後、まれに急性腎炎やリウマチ熱にかかることがあります。症状が消えても、医師の指示があるまでは、薬の服用をやめないようにしましょう。

## 検診日にはできる限り登園して下さいます様お願いします

6月14日(木) 9時30分から 歯科検診

検診の日は、朝食後、丁寧に歯磨きをしてきましょう。

6月25日(月) 12時30分から 眼科検診



## フッ素塗布について

6月14日(木) 歯科検診時区からのハガキを持参して頂くと園医による塗布を行う事が出来ます。(3歳児) 希望のお子様は6月12日(火)までにハガキを提出するようお願い致します。

## 夏の感染症

咽頭結膜熱(プール熱) アデノウィルス

6月ごろから増加、5~7日の潜伏期間後高熱がで、5日前後続く、喉がはれて痛み、扁桃腺が赤くはれ、表面に白い分泌物がみられる。結膜炎を起こし目やにが出る目の症状は片側から始まり、もう一方の目にも症状が現れることが多い。

## 突発性発疹

2歳ごろまで乳幼児がかかりやすい病気。急に39~40℃の高熱をだしますが、鼻水や咳などの風邪症状はほとんどみられない。高熱は3~4日続き解熱と同時に翌日あたりに、赤く細かい発疹が全身に出るが、そのうちに消失する。痛みやかゆみはない。

## 暑くなり虫がでてきました。



午前中の虫よけ対策はご自宅をお願い致します。(貼るタイプ、リング等の虫よけは、安全上ご遠慮いただいておりますのでご了承ください) 午後は外に出る際、事前のアンケートに従い園で虫よけを使用します。かぶれなど使用できない場合はご連絡ください。

## 保健室からのお知らせ

- 5月14日 ちゅうりっぷ組  
手洗いとブクブクうがいの実施練習をしました。
- 5月22日 たんぼぼ組・すみれ組  
心臓の話をして、聴診器を使ってお友達の心音を聴いてみました。
- 5月29日 ひまわり組  
歯と手洗いについてのお話、手洗いの実施をしました。

(うがい、手洗い、歯磨きなどの清潔行動の大切さ)を少しずつ身につけていけるといいなと思います。お家でも是非一緒にやってみてください。

## 保健室からのお願い

- 7月からのプール開始に向け、水イボなどの皮膚疾患がある児は治療をすませておくようお願いします。
- 感染症にかかった場合、医師の意見書及び登園届けが必要になります。
- 予防接種をうけましたら、園への報告と健康連絡カードへの記入をお願いします。
- 保険証・乳児医療証の変更がありましたら、速やかに北への提出をお願いします。